

わかばダイバシティスペースわかっかによるまちづくり

- 商店街の賑わいと地域課題の解決
 - まちの本屋さんが欲しい。
 - 学校、家庭以外の地域の子どもの居場所
 - 障害者の働く場所
 - 職住近接の働く場
- 空き店舗を活用して実現を目指す。
- 持続可能な運営を考える。

認定NPO法人若葉台資料

地域課題の解決実現を目指して

- 令和元年から様々な可能性について調査、研究する中で県住宅供給公社や多くの方々の支援を受けながら実現に向けて取り組んできました。
- 令和3年12月、国土交通省「人生100年時代を支える住まい環境整備モデル事業」に応募、選定され、令和4年8月にオープンしました。
- このスペースは、まちの賑わいと小・中・高校生の居場所、住民の生きがいと健康づくりに使われます。
住民は企画を提案し合いながら自らイベントに参画し生き生きとした住民活動につなげてまいります。

国交省の提案・評価概要

○提案概要（抜粋）

空き店舗活用による多世代が集える地域交流拠点の整備し、増加する高齢者のみ世帯等の孤立化の抑制、外出・交流を増やす試みを行うものである。上記の取り組み及び活動成果の効果を検証するとともに、超高齢化と障害者に対応した「住まい・まち」のモデル事業として広く情報発信する。

○評価概要

長年、多主体連携で団地全体のコミュニティをサポートする取り組みを継続してきた団体が、それらの取り組みをさらに発展させる提案である。実効性が高い内容で、他の公的住宅のモデルになることが期待される。本提案は特に高齢者等に着眼するが、多世代における継続居住やコミュニティバランスの取れた住環境の実現のため、若年層や子育て世帯の住まい、障害がある方の就労の場等への目配りにも今後期待したい。

発展する若葉台を目指して

- 令和4年夏、住民の力の結集でこれからのまちづくりの一つの方向、コミュニティの深化と持続可能な活動を目指して、わかばダイバーシティスペース Wakka（わっか）が誕生しました。



- コミュニティの輪が幾重にも重なり、繋がっていく、笑顔が繋がっていく、幸せが繋がっていく、わっかはそれらを生み出すスペースです。



毎週水曜日は、小学校と連携して放課後学習、交流の場になっています。
新たなプログラムも考えています。





若葉台中学校と連携して

プログラミング教室を毎月1回、土曜日に実施しています。講師は、若葉台中学校の校長先生です。

【ワーキングスペース】

- あたらしい働き方に応えるサテライトオフィス。若葉台で働く機能を作り出すことで職住近接を作り出し、余暇活動や地域活動の充実を図ります。



【作業所スペース】

- 障害がある人たちの働く場、自己実現、交流の場としての作業所を開所し、多様、多世代交流拠点の運営、管理を粉います。また、横浜わかば学園の生徒が作るパンの販売、農業実習、横浜わかば学園や周辺地域の特別支援学校の生徒たちが制作した作品の展示販売などを行います。



**新しい形の本屋さんです。
新書と古書本がを扱っています。
おいしいコーヒーとクラフトビールも扱っ
ています。わっかでゆっくり飲むこともで
きます。**

わっかのこれから

- 起業したい人と連携協力
 - 本社機能の誘致、支援
- 生きがい、健康づくり事業を事業者と連携
 - SOMPOケア(株)、(株)はまりハ、個人事業者等
- 小、中学校と事業連携
 - 放課後の学習、交流の場づくり
- 障害者作業所わっか通所者の働く場の充実
 - 野菜の販売、手作りのクッキー、パンなどの提供
- 商店街交流事業
 - イタリアンバルとの季節の料理教室など